

3章 障害の種類別に 気をつけること

(2章に追加すること)

1. 視覚障害のある方

1 災害への備え

情報を得る準備 ラジオはいつも身近な場所に。

避難する準備 非常持ち出し品の用意…次のものを準備しておくとう便利。

- 白杖
- 点字盤



ポイント

サポートする人が暗闇でもわかるように、白杖には蛍光塗料や蓄光、蛍光テープをはっておく。

安全の準備

大きい地震の後は室内にガラスが飛び散っている可能性があります。
身近なところに底の厚い靴を用意しておくとう安全です。

状況を伝える準備

1. 連絡方法の確認：いざというときに備えて、携帯電話に171を登録。
2. 災害時緊急カードの作成：どのようなことをサポートしてほしいかを考える。



⇒ 災害時緊急カードの記入や、非常時の連絡先の携帯電話への登録、避難場所の確認、防災訓練への参加など、サポートが必要な時には、
土浦市社会福祉協議会 にご相談下さい。 電話 029-821-5995

2 地震がおきたら

◇ 家族や近所の人に火気の確認をお願いする

※ 最近では、揺れの強度により自動消火するタイプの器機もあります。

◇ 周囲の状況を知る

大規模な地震の後は、普段と様相が変わってしまいます。

揺れがおさまったら、近くの人に助けを求め、周囲の状況を説明してもらいましょう。いざというときには笛で知らせることも有効です。

◇ 安全な避難

サポートしてくれる人に誘導の方法を伝え、一緒に避難しましょう。

